

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

長崎県平戸市 国民健康保険平戸市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	D透訓ガ	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
30,265	7,703	第1種該当	-	10:1

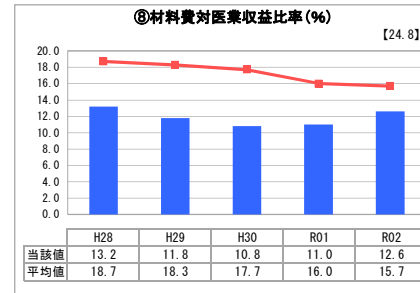
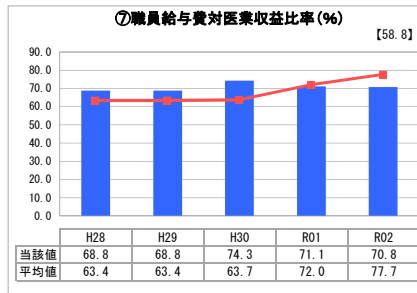
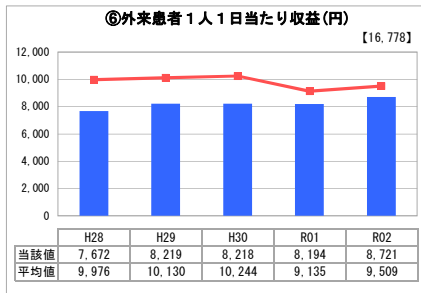
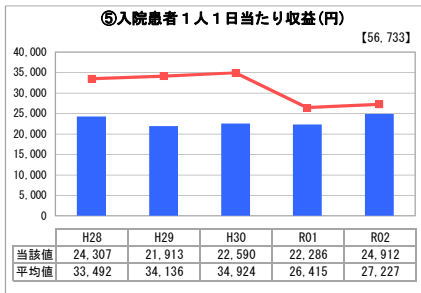
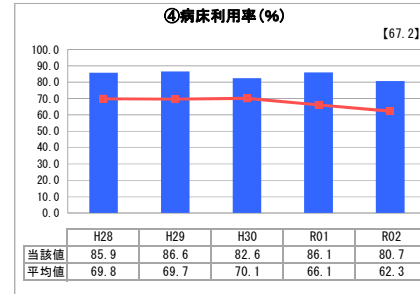
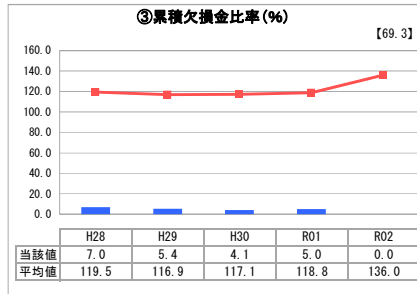
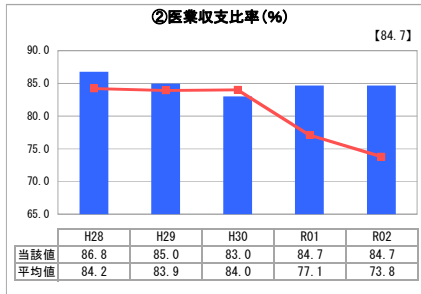
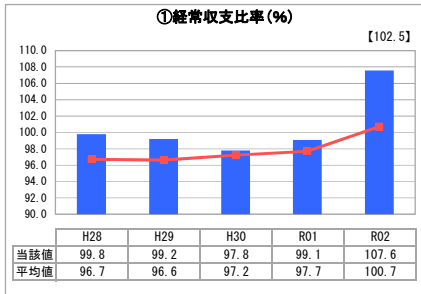
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

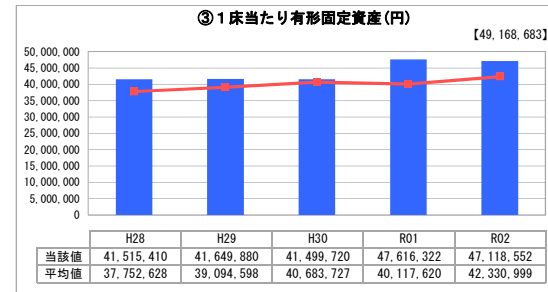
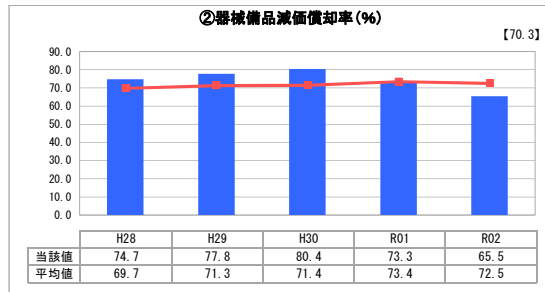
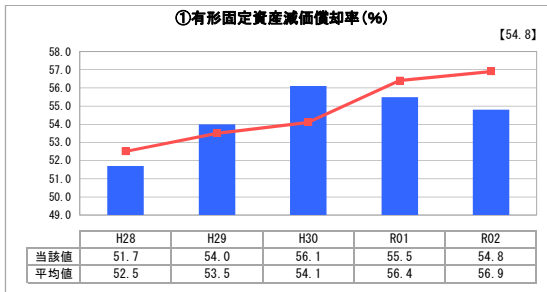
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
58	29	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	87
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
58	29	87

■ 当該病院値（当該値）	— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均	

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

国民健康保険平戸市民病院は、平成8年に2つの市立病院（国保紐差病院、市立南部病院）を合併してできた、平戸島中南部地区唯一の医療機関である。救急医療や高度医療の提供を行うほか、へき地病院再生支援・教育機構と連携して、研修医の受け入れを行っている。また、訪問看護ステーション、健診部門、通所リハビリテーションを併設し、病院と機能的に医療・介護・福祉の連携を図ることで、市民により質の高い地域包括的医療サービスの提供を行っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は平成28年度より100%を割り込んできているが、令和2年度は100%を超えた。これは新型コロナウイルス感染症関連補助金によるものである。  
 ② 医業収支比率が年々減少している。これは、患者数の減少によって医業活動による収支が年々悪化しており他会計からの繰入金に頼らざるを得ない厳しい経営状況であると言える。  
 ③ 病床利用率が高い水準の割に⑤入院患者1人1日当たりの収益が平均よりも下回っているのは、主に近年の医師不足に要因があり、現状の医療スタッフでは整形外科等の手術等が実施出来ず診療報酬を増やすことができないということが考えられる。  
 ⑦ 職員給与と費対医業収益比率については、年々増加がみられ、医業収支を圧迫していることがうかがえる。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率については、年々増加し平均近似値に至っていたが若干下がってきている。  
 ② 器械備品減価償却率については、平均から大きく乖離して増加がみられたが、令和元年度は若干下回っている。つまり、施設や医療機器において老朽化が進行していることは明らかである。新改革プランや各種計画に基づいて大規模改修を進めていく必要がある。

### 全体総括

経常収支は平成27年度に改善がみられたものの、医師の高齢化とともに医師不足の現状が続いており、経営状況に大きく影響している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症関連補助金により改善がみられたものの、これは一時的なものである。今後、医師の確保ができれば、入院・外来ともに患者数の増加が見込め経営の安定化につながる。経営状況の悪化を食い止めるため、令和4年度以降に策定する新改革プランに経営改善策を掲げて、それを講じて、経営の健全化を図っていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。